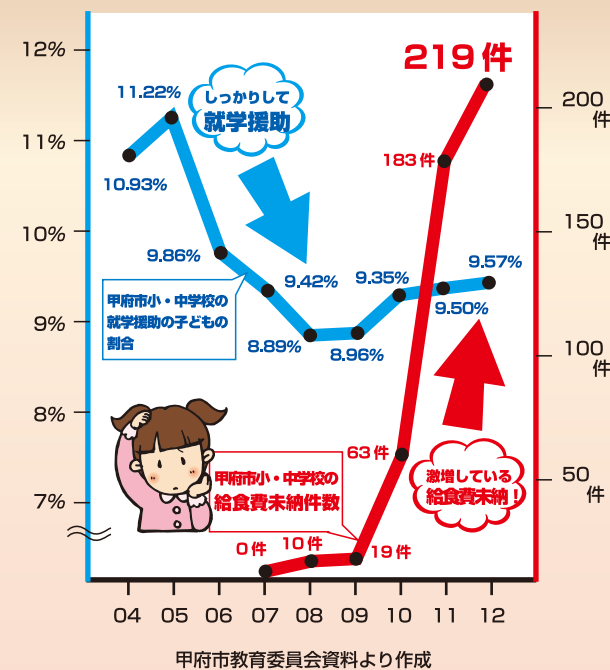




山田厚の子育ての政策提言です

就学援助の切り下げストップを もっと充実させ！ もっと子どもを守ろう！



2013年甲府市議会で使用したパネル

保育料の軽減と減免を

「子育て支援」がいわれても、保育料が軽減されていません。また、保護者の離職・病気・天災などによる保育料が困難な場合の減額免除制度の充実です。

高校授業料・入学金の減免を

所得によって高校授業料の無償化がなくなりました。この傾向は強まりかねません。授業料の減免制度の充実が求められます。また奨学金制度の充実を働きかけます。

子どもの医療費助成の引上げ

子どもの医療費助成の対象年齢の引き上げは当然です。早急に中学生までに引き上げ、そして高校生の入院から通院助成までの目標設定を求めます。

就学援助制度の充実を

子どもの貧困対策として就学援助制度の充実です。給食費や副教材費などの公的援助です。しかし不十分です。学校給食費の未納件数も急激に伸びています。子どもために保護者の申請まかせにしない改善が必要です。

安全でおいしい学校給食の改善を

学校給食は教育です。食育・地産地消はもとより、おいしくて、安全な（放射能汚染・遺伝子組み換え食材などを使わない）給食です。自校方式を守り安易な民間委託は抑制すべきです。給食費の引下げもはかるべきです。

街なかに「子育てサロン」を

街なかに「室内公園」「室内の遊び場」が必要です。そして親子の交流や子育て相談ができるようにします。室外の「ちびっ子広場」の遊具も増やすべきです。

使いやすい入学準備金融資を

高校と大学などの必要な入学準備資金を融資する制度の改善・充実をはかりましょう。金利は無利子を目指すべきです。また融資決定の条件を緩和すべきです。

障害児医療の窓口無料を

昨年、障害児医療費助成の窓口無料化制度がなくなり、障害児家庭の負担が増えています。しかも健常児は窓口無料化です。まず障害児の窓口無料の復活を。

子育ての責任は
自治体にあります。
だから子どもを大切にする
甲府市を！
子育てに取り組む
自治体議員を！

子どもは、未来をつくる社会の宝です。今、日本社会の子どもの貧困がいられています。いじめや虐待も少なくありません。これらの対応も大きな課題です。

しかも困ったことに安倍政権は『子育て支援』を言いながら、学校の統廃合をいいはじめました。小学校は、子どもの教育と健全育成の拠点です。地域にとっては文化・スポーツ防災・自治会などのセンターです。小学校がなくなると地域の活力が失われることは確実です。

忘れてはいけないことは、子ども（18歳未満）を育てる責任は、その親だけではなく、地域では自治体にあるのです。それは法の原則です。

児童福祉法

第一条 すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない。

第二条 国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。

また憲法は、「義務教育は、これを無償とする」としています。だから就学援助制度もあります。地域の乳幼児から高校生までの子どもを健やかに育てる甲府市の責任はたすために、自治体議員には、是正・改善をしっかりと働きかける使命があるのです。

山田厚とつくしの会

甲府市北口 3-7-13

TEL(055)253-6790 FAX(055)254-4403

yamada@peace.email.ne.jp

政策はホームページの検索で

「山田 厚」と検索してください

2015 山田厚 市政提言書

No.1

子育てを大切に
貧困から子どもを守ろう



子育ては、社会の、
特に自治体の責任です
私は自治体議員として、
今までも、今も、これからも
子どもを大切にする
甲府市に向けて
皆さんと共に
ガンバリ続けます。

※これは山田厚の子育て政策の一部であり要約です。詳細はホームページをご覧ください → 「山田 厚」と検索してください

自治体の責務として学校を維持・改善を！